



(C) 岡垣町2012

# 橋梁長寿命化修繕計画

OKAGAKI TOWN'S  
PLAN OF BRIDGE LIFE SPAN EXTENSION BY MAINTENANCE



平成26年5月



岡垣町 都市建設課 施設整備係

# CONTENTS

1. 長寿命化修繕計画の目的	1
2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁	2
3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針	3
4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架け替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針	4
5. 橋梁長寿命化修繕計画の流れ	5
6. 部材の健全度の考え方	6
7. 修繕時期の設定の流れ	7
8. 部材の修繕時期の考え方	8
9. 橋梁の修繕優先順位の考え方	9
10. 対象橋梁ごとの概ねの 次回点検時期及び修繕内容・時期又は架け替え時期	10
11. 長寿命化修繕計画による効果	14
12. 今後の課題	15
13. 計画策定担当部署および意見聴取した学識経験者等の 専門知識を有する者	15
14. 参考文献	15

## 1) 背景

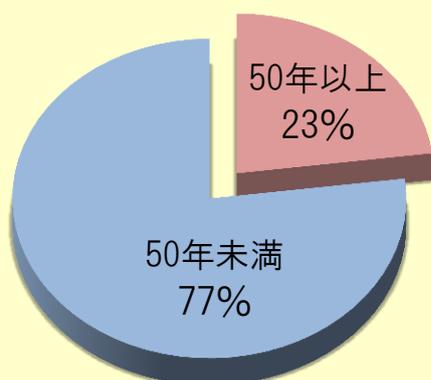
平成25年度現在、岡垣町が管理する橋梁は、計142橋あります。

また、建設後50年を経過する橋梁は、全体の23%を占めており、**20年後**の平成45年度には、**66%程度に増加**すると予測されます。

これらの橋梁が老朽化を迎える中、従来の事後保全型に偏った維持管理を継続すると、橋梁の修繕や架け替えに要する費用が急激に増大し、対応が困難になることが予想されます。また、橋梁の老朽化を放置すると、安全で安心な道路利用を妨げる恐れが発生いたします。

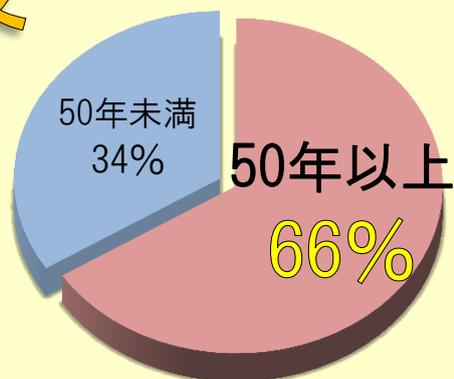
今後は、より計画的な橋梁の維持管理を行い、限られた財源の中で効率的に橋梁を維持していくための取り組みが不可欠です。

平成25年度（2013）  
8橋（23%）



**20年後**

平成45年度（2033）  
23橋（66%）



\*円グラフは橋暦の分かる計35橋を対象に作成。

\*実質的な老朽化橋梁数の割合は、橋暦不明の107橋を加えると、66%以上と推察される。

## 2) 目的

コスト縮減のためには、橋梁の延命化を図る「**予防保全的な維持管理**」を主としつつ橋梁規模に応じた「**事後保全的な維持管理**」を組み合わせ、橋梁の修繕費用を低減する必要があります。

岡垣町では、将来的な財政負担の軽減及び道路交通の安全性の確保を目的とし、橋梁長寿命化修繕計画を策定することとしました。

	一般国道	主要地方道	町道	合計
全管理橋梁数	0	0	142	142
うち計画の対象橋梁数	0	0	142	142
うち平成21年度の計画策定橋梁数	0	0	18	18
うち平成25年度の計画策定橋梁数	0	0	142	142

\* 岡垣町が管理する全ての橋梁を長寿命化修繕計画の対象橋梁とする。



汐入川橋（1977年架設）



第一矢口橋（1959年架設）



鍋田一号橋（1992年架設）



第二白谷橋（1994年架設）



猿田橋（1978年架設）



立田橋（1994年架設）



千手寺田1号橋（架設年不明）



岸元橋（架設年不明）

### 1) 橋梁の管理区分

- ①主要橋梁（69橋）
  - ・橋長15m以上の橋梁
  - ・上下部一体構造の橋梁（ボックスカルバート構造を含む）
- ②その他の橋梁（73橋）
  - ・主要橋梁を除く橋梁（全て規模の小さなRC床版橋および桁橋である）

### 2) 橋梁点検の徹底

- ①橋梁点検は、橋梁の架設年度や立地条件等を十分に考慮し、定期点検、日常点検、臨時点検を組み合わせて実施する。
  - ・定期点検：10年に1回を目安として実施
  - ・日常点検：日常的なパトロールにより実施
  - ・臨時点検：集中豪雨や大規模地震による自然災害の直後に実施
- ②橋梁点検は原則として常に新しい指針を適用する
  - ・管理者のための橋梁点検の手引き（案）H24.1（財）福岡県建設技術情報センター  
（注）部材毎の損傷や劣化の状況から橋梁毎の対策区分を判定する際は、「定期点検要領（案）P.110」の「損傷評価基準と対策区分判定の目安」を参考とする。
- ③主要橋梁は、定期点検および町職員による日常点検を基本とし、劣化や損傷が顕在化する前に機能を回復させる予防保全的な維持管理を行う。
- ④その他の橋梁は、町職員による日常点検を基本とし、安全性を十分に確保しつつ、原則として事後保全的な維持管理を行う。

### 3) 日常点検の徹底

- ①日常点検は可能な限り桁下からも行い、塗装の劣化やコンクリートのひび割れ等、過去の点検結果を踏まえて「劣化や損傷」の「箇所、内容、進展」を早期に把握する。
- ②橋面排水口の目詰まり、橋座の土砂、鳥の糞の堆積等を発見した場合は、速やかに清掃する。

### 4) 点検履歴および補修補強履歴の記録

- ①橋梁点検で得られる損傷等の情報は、劣化要因の推定や劣化進行の予測を行いつつ点検調書に記入し、記録として確実に残す。なお、「損傷なし」と「未調査」を混同することが無いよう記録する必要がある。
- ②補修、補強、耐震補強等の修繕工事を行う際は、併せて近接目視による点検も行い、修繕内容、修繕時期、工法の選定方法、工事記録等を記録として確実に残す。

### 5) 技術者（町職員）の育成

- ①町職員の技術力向上を図るために、橋梁の劣化損傷特性、点検技術手法、対策工法の選定に関する「技術講習会」に適宜参加する。
- ②橋梁点検、工事の設計、工事の管理を通じ、ベテラン技術者から若手技術者へ技術の伝承を図る。

## 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針

橋梁長寿命化修繕計画に沿った計画的かつ予防保全的な維持管理を徹底することにより、全体的な事業費の大規模化および高コスト化を回避し、維持管理費の縮減を図ります。

### 《予防保全的》

損傷が小さなうちに予防的な対策を行うため、橋梁の寿命が長くなり修繕費用を最小限に抑えられます。

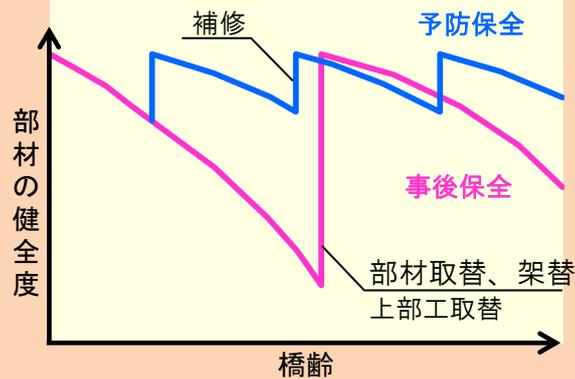
### 《事後保全的》

損傷が大きくなってから対策を行うため、工事規模が大きく多大な費用が発生します。

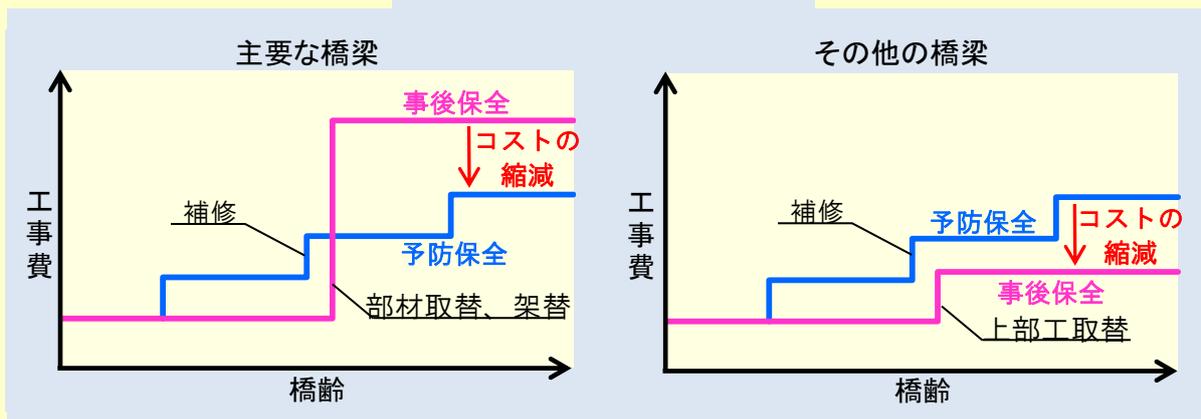
なお、規模の小さなRC床版橋のような「その他の橋梁」は、上部工の取替費が補修費よりも安価なため、「事後保全的」な維持管理の手法で対応します。

### 橋梁長寿命化修繕計画のイメージ図

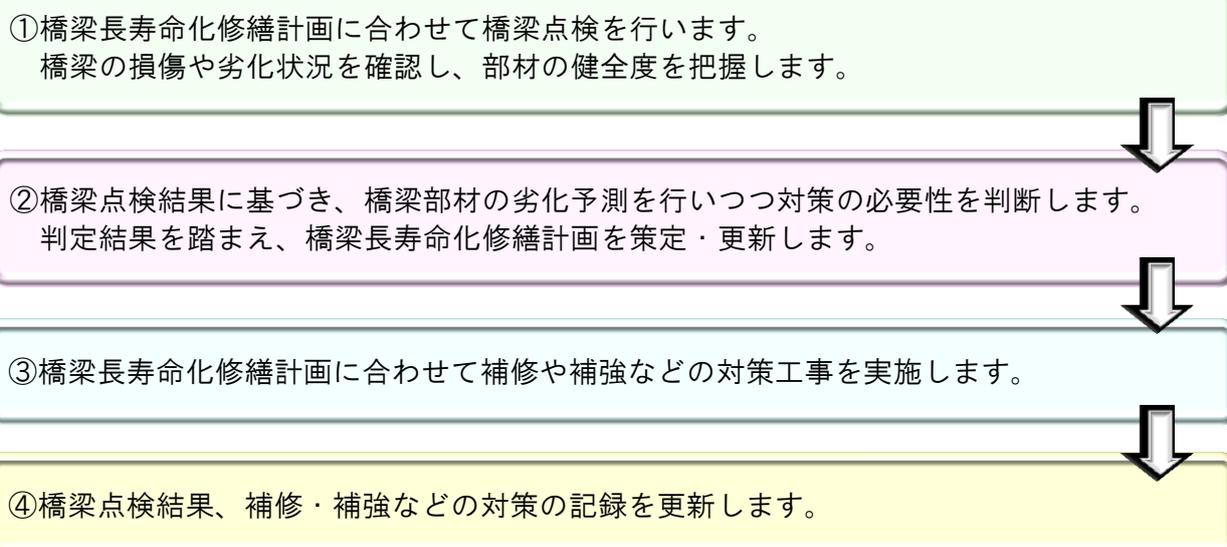
#### 劣化予測のイメージ



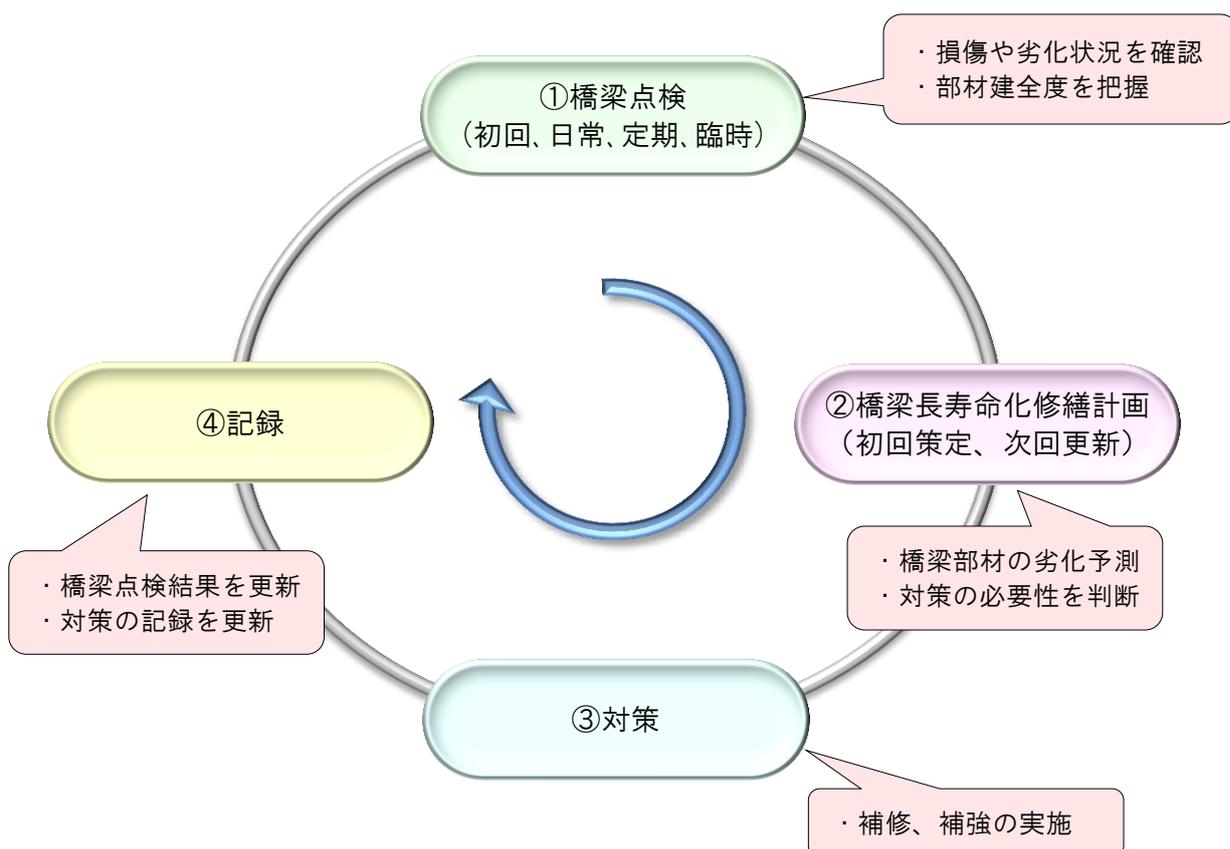
#### コスト縮減のイメージ



橋梁長寿命化修繕計画は、橋梁部材の損傷や劣化状況に合った適切な補修補強等の修繕対策を実施できるよう、定期的に橋梁を点検し、実情にあった修繕計画の更新を行います。



### 橋梁長寿命化修繕計画のサイクル

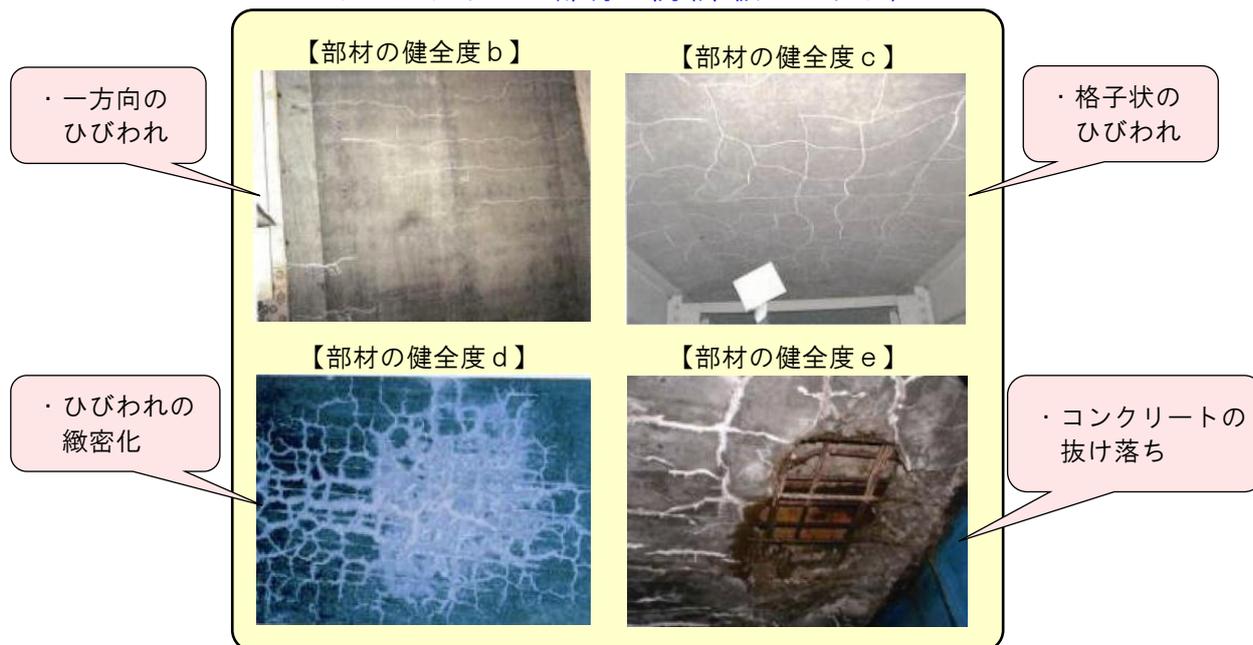


橋梁の長寿命化修繕計画では、構成する部材の損傷や劣化の程度から「部材毎の健全度」を総合的に分析します。

◆鋼部材の例（塗装劣化・鋼材腐食）



◆コンクリート部材の例（床板ひびわれ）



◆その他の着目部位

亀裂、鉄筋露出、路面の凹凸、支承の機能障害、下部工の変状など

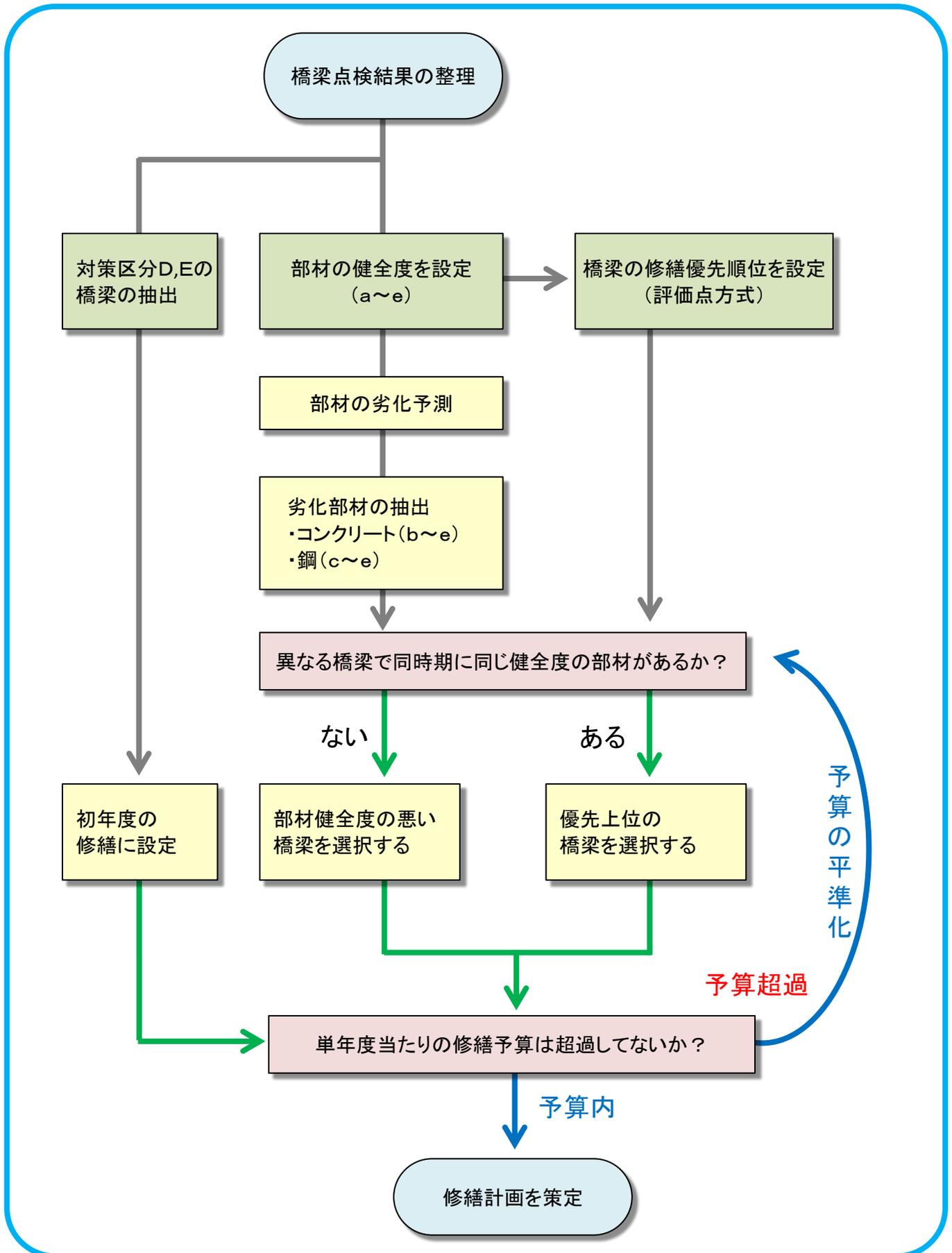
a : 対策不要

b : 経過観察

c : 必要に応じ補修

d : 早期に補修

e : 緊急対応



橋梁部材の修繕時期は、【予防保全的な維持管理】と【事後保全的な維持管理】とで異なる管理レベルを設定し、将来の劣化予測に基づく健全度（a～e）を考慮のうえ予測します。

### 管理レベルの考え方

#### 予防保全的な維持管理

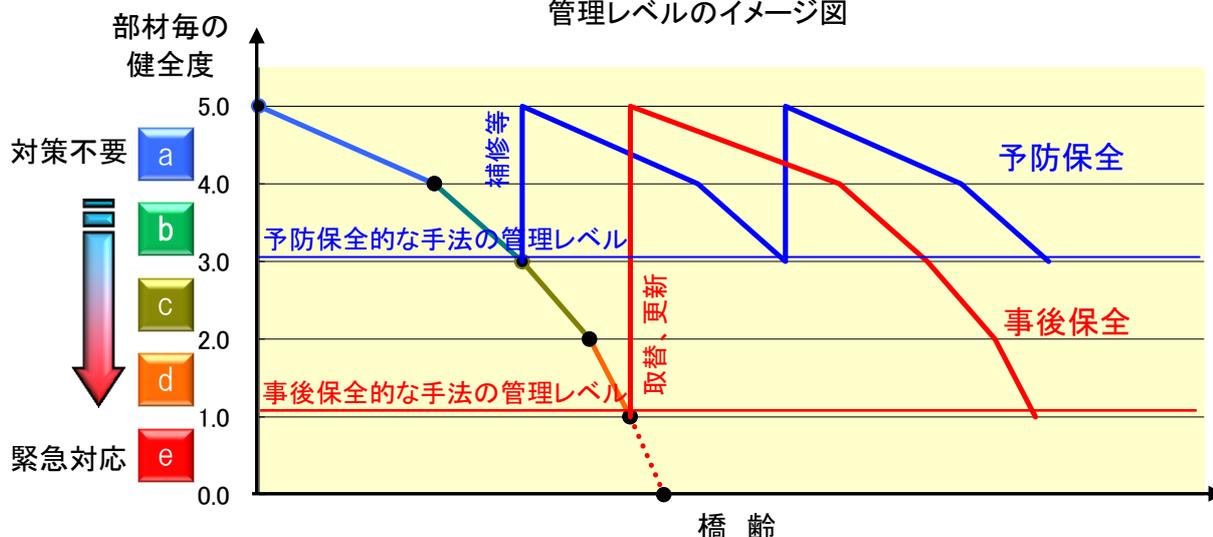
- ・修繕時期を示す管理レベルは、損傷が小さいうちに早めの修繕を行うため、高く設定します。
- ・例えば、鉄筋コンクリート部材はbランクのうちに、鋼部材はcランクのうちに修繕するよう設定します。
- ・bランクはひび割れ発生、cランクは塗膜の劣化にともなう発錆の状態を示します。

#### 事後保全的な維持管理

- ・修繕時期を示す管理レベルは、損傷が大きくなってから修繕を行うため、dランクのうちに取替や更新を行うよう設定します。
- ・dランクは部材の機能が失われる前の状態を示します。

修繕実施後は、原則として各部材の健全度をaランク（無損傷状態）まで回復させ、橋梁は恒久的なものと考えます。

管理レベルのイメージ図



\* 1) 予防保全型はbランク末期で補修する場合の例を示す。

\* 2) 事後保全型は架替えの可能性もある。

\* 3) 一つの橋梁で異なる健全度の部材（桁、床版、下部工、支承など）が存在する場合は、同時期の修繕対策を基本とする。

異なる橋梁で修繕時期が重なる場合は、「部材毎の健全度」に「部材毎の重要度」を乗じて算出した「橋梁の評価点」で「修繕の優先順位」を決定します。「橋梁の評価点」が大きいほど、修繕の優先順位は上位になります。

【健全度毎の基本点】

健全度	基本点
a	0
b	10
c	20
d	40
e	80

【部材毎の重要度】

部材	重要度
桁	1.0
床版	1.0
下部工	0.3
支承	0.3

【評価点の算出方法】

	健全度の基本点	重要度	評価点
桁	(0~80)	× 1.0	= 0~80
床版	(0~80)	× 1.0	= 0~80
下部工	(0~80)	× 0.3	= 0~24
支承	(0~80)	× 0.3	= 0~24
評価点の合計			= 0~204
(評価点：大 → 優先順位：上位)			

例えば、以下のように異なる橋梁で**同時期に同じcランクの部材**が存在すると、桁や床版の健全度が低い**橋梁②**を**優先的に**修繕します。

【優先順位の設定例】

橋梁部材	重要度	橋梁①			橋梁②		
		健全度	評価点	評価点計	健全度	評価点	評価点計
桁	1.0	b (10)	10	39	c (20)	20	46
床版	1.0	c (20)	20		c (20)	20	
下部工	0.3	c (20)	6		b (10)	3	
支承	0.3	b (10)	3		b (10)	3	

※1 評価点=部材の健全度×重要度

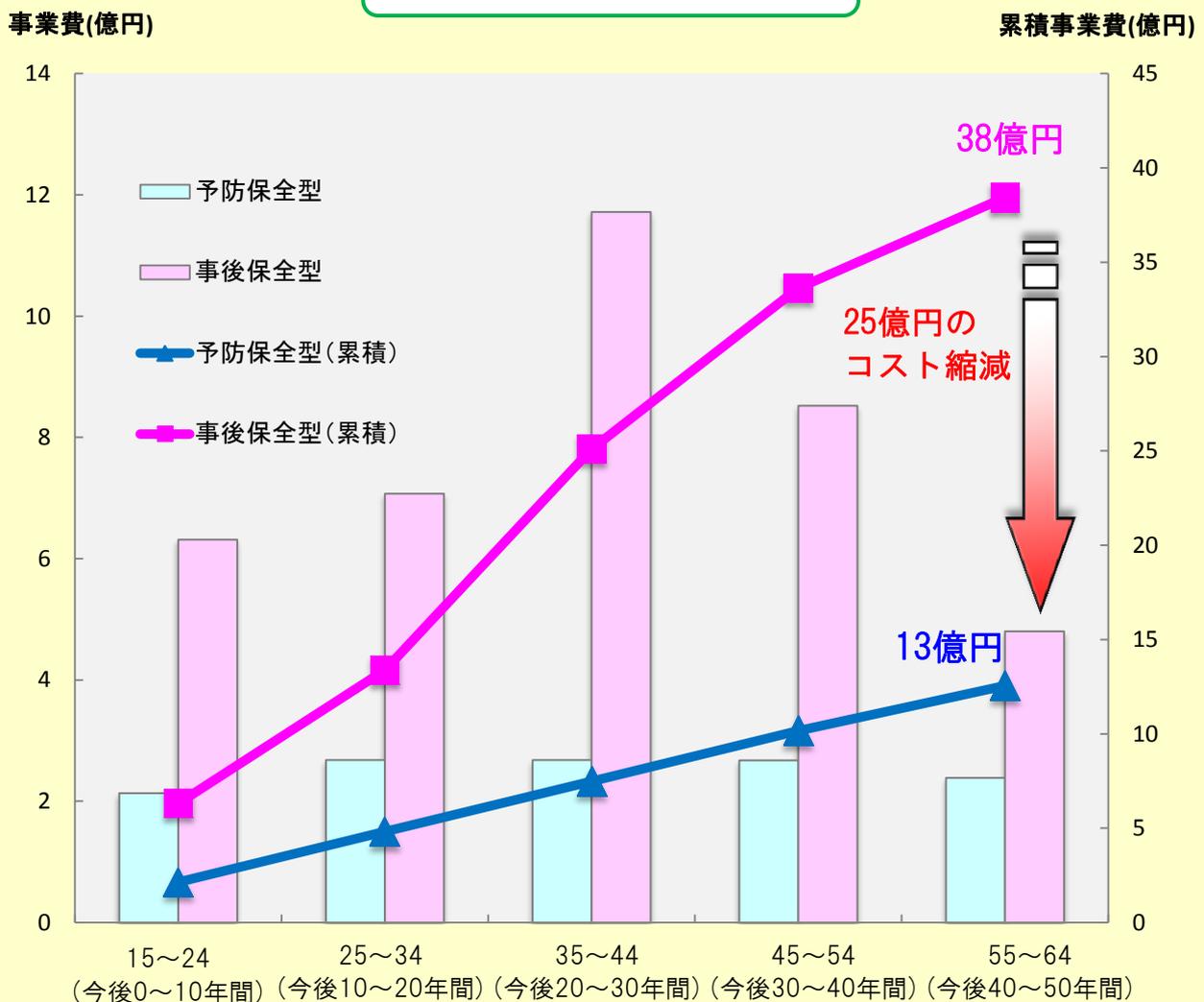
※2 下部工がdやeランクの場合は、評価点計が小さくても優先的に修繕します。

橋梁長寿命化修繕計画を策定した橋梁は、計画的かつ予防的な修繕対策により、概ね100年以上を目標とした長寿命化が見込まれます。

計142橋の今後50年間の事業費を比較すると、従来の事後保全型は38億円、予防保全型は13億円となり、コストの縮減効果は25億円となります。

また、損傷に起因する通行制限等が減少し、道路の安全性や信頼性が確保されます。

今後50年間の事業費の推移



- \* 予防保全型→予防保全的な維持管理と事後保全的な維持管理の組み合わせ
- \* 事後保全型→事後保全的な維持管理

- ① 今回の橋梁点検は主に目視で点検しており、橋長の長い橋梁については護岸からの目視による点検であったため、劣化や損傷の正確な把握が困難であった。次回の定期点検からは、近接が難しい箇所は足場工や点検車両を用いて調査する必要がある。
- ② 修繕計画の概算工事費は簡易点検に基づく概略数量を用いて算出しており、実際の工事費とは差異が生じると想定される。このため、具体的な工事費は、補修設計を実施のうえ算出する必要がある。
- ③ 岡垣町は、少数の担当職員で142橋に及ぶ橋梁の維持管理を行っている。今後は、橋齢50年以上の橋梁が急激に増加すると予測されるため、担当職員の継続的な技術教育や国・県からの支援を活用しながら、実施体制を強化する必要がある。

### 計画策定担当部署および意見聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

橋梁長寿命化修繕計画の策定に際し、有識者の有益なご助言を得る場として、「学識経験者の意見聴取」の場を設けました。

橋梁修繕計画における課題や問題点を挙げ、効果的な取組体制を築くための議論を行いました。

#### 1) 計画策定担当部署

福岡県遠賀郡 岡垣町役場 都市建設課 tel : 093-282-1211

#### 2) 意見を聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

九州工業大学 大学院 工学研究院 建設社会工学研究系 山口栄輝 教授

【意見聴取風景】



- ① (財) 福岡県建設技術情報センター
  - ・市町村における橋梁長寿命化修繕計画策定のための橋梁点検の手引き (案) H22. 10
  - ・市町村における橋梁長寿命化修繕計画策定の手引き (案) H22. 10
  - ・管理者のための橋梁点検の手引き (案) H24. 1
- ② 福岡県県土整備部道路維持課
  - ・定期点検要領(案)【橋梁編】平成21年10月

通し番号	橋梁番号	橋梁名	橋長(m)	幅員(m)	架設年度	判定区分(全体)	主な損傷状況		2015年度～2024年度までに実施予定の主な対策内容		
							部位	損傷種類			
1	1001	汐入川橋	32.6	5.2	1977	D	上部工	腐食	上部工塗装	—	—
2	1002	高見橋	21.5	4.1	1968	C	下部工	ひびわれ	上部工塗装 橋脚塗装	床版修復 伸縮取替	支取取替
3	1003	第3矢口橋	19.6	4.0	1983	A	上部工	ひびわれ	—	—	—
4	1004	第1矢口橋	20.5	4.1	1959	C	上部工	腐食 鉄筋露出	上部工塗装	床版修復	伸縮取替
5	1005	正矢口橋	20.4	2.5	1960	C	上部工	腐食 鉄筋露出	上部工塗装 橋台修復	支取取替 橋脚修復	舗装打換 伸縮取替
6	1006	西山田橋	18.8	10.7	1977	A	—	—	—	—	—
7	1007	第2矢口橋	18.2	3.1	1962	B	上部工	腐食	—	—	—
8	1008	牟田橋	15.0	6.0	1961	D	上部工	腐食ひびわれ	上部工塗装 舗装打換	床版修復 橋台修復	支取取替 伸縮取替
9	1009	牛田橋	14.2	3.7	1963	A	—	—	—	—	—
10	1013	山田橋	21.8	6.6	1980	A	—	—	—	—	—
11	1095	矢矧橋	22.5	8.5	1986	A	—	—	—	—	—
12	1139	待田橋	40.0	10.1	1980	A	—	—	—	—	—
13	1153	鍋田1号橋	19.9	4.2	1992	A	—	—	—	—	—
14	1154	鍋田2号橋	20.0	5.5	1992	A	—	—	—	—	—
15	1157	吉木橋	19.1	6.8	1956	A	—	—	—	—	—
16	1163	寿橋	14.6	6.9	1975	A	—	—	—	—	—
17	1165	新西山田橋	25.8	16.8	1997	A	—	—	—	—	—
18	1010	本村橋	11.4	7.2	1986	A	下部工	ひびわれ	—	—	—
19	1014	持田橋	10.4	7.1	—	A	—	—	—	—	—
20	1021	小豆橋	8.8	3.9	—	C	上部工 下部工	腐食 洗掘	上部工塗装	—	—
21	1023	第一御下橋	7.1	8.6	1968	C	上部工	ひびわれ 鉄筋露出	上部工取替	—	—
22	1024	森橋	8.6	3.2	1955	B	上部工	腐食	—	—	—
23	1030	花木橋	6.3	4.5	—	B	上部工	ひびわれ 鉄筋露出	上部工取替	—	—
24	1033	第二白谷橋	15.3	10.5	1994	M	—	—	—	—	—
25	1036	東黒山1号橋	4.9	5.3	—	B	頂版	鉄筋露出	—	—	—
26	1047	早崎橋	9.5	7.7	—	A	—	—	—	—	—
27	1048	三本松橋	8.5	6.2	—	A	下部工	ひびわれ	—	—	—
28	1086	戸切橋	10.1	5.1	1955	B	上部工	腐食	—	—	—
29	1108	龍王橋	13.6	9.8	1983	A	下部工	ひびわれ	—	—	—
30	1109	畑橋	4.5	11.5	—	B	上部工	鉄筋露出	—	—	—
31	1110	名切橋	3.6	5.2	—	B	頂版	ひびわれ	—	—	—
32	1117	猿田橋	14.5	3.6	1978	A	下部工	ひびわれ	—	—	—
33	1137	白谷橋	12.3	11.2	1988	A	下部工	ひびわれ	—	—	—
34	1159	裏田川橋	4.7	25.4	—	B	上部工 下部工	ひびわれ 鉄筋露出・洗掘	—	—	—
35	1160	小日焼橋	5.1	25.5	1988	C	頂版 側壁	ひびわれ	頂版修復	舗装打換	側壁修復
36	1011	柳橋	13.4	3.6	—	C	上部工	腐食	上部工塗装	橋台修復	—

判定区分	A: 損傷無し又は軽微	B: 状況に応じて補修	C: 速やかに補修	D: 早期に補修	E: 緊急対応	M: 維持管理対応
------	-------------	-------------	-----------	----------	---------	-----------

通し 番号	橋梁 番号	橋梁名	橋長 (m)	幅員 (m)	架設 年度	判定 区分 (全体)	主な損傷状況		2015年度～2024年度までに 実施予定の主な対策内容		
							部位	損傷種類			
37	1015	湯川2号橋	10.3	8.1	-	B	上部工	鉄筋露出	-	-	-
38	1017	相園橋	8.4	4.7	-	A	下部工	ひびわれ	-	-	-
39	1018	立田橋	7.0	4.2	1994	B	上部工	腐食	-	-	-
40	1019	第二御下橋	9.0	2.8	-	C	上部工	腐食	上部工塗装	-	-
41	1022	什王堂橋	7.5	4.7	-	B	上部工 路面	鉄筋露出 凸凹	上部工取替	-	-
42	1026	大山口2号橋	7.0	5.9	-	B	上部工 下部工	ひびわれ 鉄筋露出	-	-	-
43	1027	山ノ口橋	6.1	8.4	-	A	路面	凸凹	-	-	-
44	1028	百合野橋	6.2	3.7	-	M	下部工 路面	ひびわれ 凸凹	-	-	-
45	1029	大山口1号橋	7.1	5.9	-	B	上部工 下部工	ひびわれ	-	-	-
46	1031	中村橋	9.5	4.7	-	C	上部工 下部工	腐食 下部工の変状	上部工塗装	-	-
47	1032	第三御下橋	7.3	2.5	-	B	上部工	腐食 鉄筋露出	上部工塗装	舗装打換	-
48	1034	今橋	6.2	8.6	-	C	上部工	鉄筋露出	上部工取替	-	-
49	1035	樋口橋	5.5	3.6	-	B	頂版 側壁	ひびわれ	-	-	-
50	1037	黒渡橋	5.6	9.8	-	M	頂版 路面	ひびわれ	-	-	-
51	1038	大坪2号橋	4.9	2.4	-	B	上部工 路面	鉄筋露出 凸凹	-	-	-
52	1039	落合橋	7.0	8.0	-	B	上部工 下部工	ひびわれ	上部工取替	-	-
53	1041	江月橋	5.2	9.4	-	B	上部工	ひびわれ 鉄筋露出	-	-	-
54	1042	湯川1号橋	5.4	8.3	-	B	上部工 下部工	ひびわれ 鉄筋露出	-	-	-
55	1044	元松原2号橋	4.9	9.4	-	B	上部工 下部工	鉄筋露出	-	-	-
56	1045	大坪1号橋	7.2	5.2	-	C	上部工 下部工	鉄筋露出 下部工の変状	上部工取替	-	-
57	1046	山添橋	4.0	5.6	-	A	上部工	ひびわれ	-	-	-
58	1049	百合野2号橋(ゆりの橋)	7.7	5.2	1986	A	下部工	ひびわれ	-	-	-
59	1050	妙見橋	3.5	6.2	-	B	頂版 側壁	鉄筋露出 ひびわれ	-	-	-
60	1051	狩野橋	6.0	3.7	-	A	-	-	-	-	-
61	1052	待田橋	5.6	8.8	-	A	頂版	ひびわれ	-	-	-
62	1053	東黒山2号橋	4.6	5.8	-	B	頂版 側壁	鉄筋露出 ひびわれ	-	-	-
63	1055	波津橋	3.9	3.9	-	M	路面	凸凹	-	-	-
64	1056	河原口橋	4.9	3.5	-	B	上部工	ひびわれ 鉄筋露出	上部工取替	-	-
65	1057	下牟田橋	3.4	6.2	-	A	頂版 側壁	ひびわれ	-	-	-
66	1058	門司口橋	4.3	6.7	-	B	上部工 下部工	鉄筋露出 ひびわれ	-	-	-
67	1059	山崎橋	3.9	3.8	-	A	-	-	-	-	-
68	1060	浜田橋	4.8	7.2	-	A	頂版 側壁	ひびわれ	-	-	-
69	1061	界橋	5.7	5.1	-	B	上部工 路面	鉄筋露出 凸凹	-	-	-
70	1062	山ノ口2号橋	4.0	2.8	-	B	上部工	腐食 鉄筋露出	上部工取替	-	-
71	1064	湯川3号橋	3.5	9.5	-	B	上部工 下部工	鉄筋露出 ひびわれ	-	-	-
72	1065	平山橋	4.1	4.4	-	B	上部工 下部工	ひびわれ 鉄筋露出	-	-	-

判定区分	A:損傷無し又は軽微	B:状況に応じて補修	C:速やかに補修	D:早期に補修	E:緊急対応	M:維持管理対応
------	------------	------------	----------	---------	--------	----------

通し 番号	橋梁 番号	橋梁名	橋長 (m)	幅員 (m)	架設 年度	判定 区分 (全体)	主な損傷状況		2015年度～2024年度までに 実施予定の主な対策内容		
							部位	損傷種類			
73	1068	岩谷2号橋	4.0	3.3	-	C	上部工 路面	鉄筋露出 凸凹	上部工取替	-	-
74	1070	浦頭橋	3.4	6.5	-	B	上部工	鉄筋露出	-	-	-
75	1071	海蔵寺橋(海蔵寺新橋)	14.4	5.6	-	A	-	-	-	-	-
76	1072	蔵ノ下橋	4.3	5.4	-	A	下部工	ひびわれ	-	-	-
77	1073	宇土橋	4.5	8.8	-	A	下部工	ひびわれ	-	-	-
78	1074	枕田橋	3.7	10.6	-	B	上部工 路面	鉄筋露出 凸凹	-	-	-
79	1075	原橋	4.6	7.5	-	C	上部工 下部工	鉄筋露出 ひびわれ	上部工取替	-	-
80	1076	前田1号橋	3.4	3.7	-	B	上部工 路面	鉄筋露出 凸凹	-	-	-
81	1077	元松原1号橋	4.5	10.1	-	A	路面	凸凹	-	-	-
82	1078	野津橋	2.7	5.2	-	A	頂版 側壁	ひびわれ	-	-	-
83	1079	火渡橋	2.9	8.0	-	C	上部工 路面	鉄筋露出 凸凹	上部工取替	-	-
84	1081	前田2号橋	2.8	8.7	-	A	下部工	ひびわれ	-	-	-
85	1083	地久橋	3.8	3.8	-	B	上部工 路面	鉄筋露出 凸凹	-	-	-
86	1085	金久曾橋	2.7	10.1	-	B	上部工	鉄筋露出	-	-	-
87	1087	塚田橋	2.2	4.0	-	B	上部工 路面	鉄筋露出 凸凹	上部工取替	-	-
88	1088	岩谷橋	2.8	3.3	-	B	上部工	鉄筋露出	上部工取替	-	-
89	1091	尾畑橋	6.5	11.6	-	B	上部工	鉄筋露出	-	-	-
90	1092	小竹橋	5.4	3.4	-	B	下部工	下部工の変状	-	-	-
91	1093	小竹2号橋	2.5	3.3	-	A	-	-	-	-	-
92	1096	大日焼橋	9.0	5.2	-	M	下部工 路面	ひびわれ 凸凹	-	-	-
93	1097	浜田橋	3.1	5.2	-	A	頂版	ひびわれ	-	-	-
94	1098	南橋	2.0	3.9	-	B	頂版 側壁	ひびわれ 鉄筋露出	-	-	-
95	1099	桶太郎橋	2.0	3.0	-	M	路面	凸凹	-	-	-
96	1100	一の井手橋	4.1	3.6	-	A	-	-	-	-	-
97	1102	山ノ口2号橋	3.6	6.7	-	B	上部工 下部工	ひびわれ	上部工取替	-	-
98	1103	金山口橋	3.5	7.4	-	B	側壁	ひびわれ 鉄筋露出	-	-	-
99	1104	大膳塚橋	5.2	4.3	-	B	上部工 路面	鉄筋露出 凸凹	-	-	-
100	1105	糠塚地内1号橋	3.6	4.2	-	B	上部工	腐食	上部工取替	-	-
101	1106	吉木地内1号橋	3.6	5.1	-	M	路面	凸凹	-	-	-
102	1107	稗田橋	6.8	6.5	1998	A	路面	凸凹	-	-	-
103	1111	狩野1号橋	6.9	4.8	-	B	上部工	鉄筋露出	-	-	-
104	1112	山ノ口3号橋	2.3	4.5	-	B	頂版 側壁	鉄筋露出 ひびわれ	-	-	-
105	1113	大国橋	5.4	2.7	-	B	上部工	鉄筋露出	-	-	-
106	1114	鋤崎橋	4.0	4.0	-	A	頂版	ひびわれ	-	-	-
107	1115	下牟田橋	12.9	5.0	-	A	-	-	-	-	-
108	1116	高原橋	2.3	3.8	-	A	-	-	-	-	-

判定区分	A: 損傷無し又は軽微	B: 状況に応じて補修	C: 速やかに補修	D: 早期に補修	E: 緊急対応	M: 維持管理対応
------	-------------	-------------	-----------	----------	---------	-----------

通し 番号	橋梁 番号	橋梁名	橋長 (m)	幅員 (m)	架設 年度	判定 区分 (全体)	主な損傷状況		2015年度～2024年度までに 実施予定の主な対策内容		
							部位	損傷種類			
109	1118	北分橋	2.0	4.5	-	M	路面	凸凹	-	-	-
110	1119	畑一号橋	6.7	3.6	-	A	路面	凸凹	-	-	-
111	1120	畑二号橋	6.5	4.8	-	A	下部工	ひびわれ	-	-	-
112	1121	畑三号橋	7.0	4.5	-	A	-	-	-	-	-
113	1122	河原田橋	7.0	6.0	-	A	下部工	ひびわれ	-	-	-
114	1123	河原田二号橋	3.5	4.5	-	A	-	-	-	-	-
115	1124	一ノ井手橋	2.5	4.6	-	A	-	-	-	-	-
116	1125	草場橋	2.7	4.4	-	B	頂版 側壁	鉄筋露出 ひびわれ	-	-	-
117	1129	千手寺田1号橋	11.0	3.6	-	B	上部工 路面	鉄筋露出 凸凹	-	-	-
118	1130	千手寺田2号橋	3.4	4.0	-	M	路面	凸凹	-	-	-
119	1131	小崎橋	3.7	3.4	-	A	-	-	-	-	-
120	1132	沖橋	2.2	3.8	-	A	-	-	-	-	-
121	1133	和田橋	2.3	3.4	-	A	-	-	-	-	-
122	1135	中村橋	10.4	6.2	1988	A	路面	凸凹	-	-	-
123	1136	外畑橋	2.4	2.0	-	A	下部工	ひびわれ	-	-	-
124	1138	南橋	5.3	9.0	1966	B	上部工 路面	鉄筋露出 凸凹	-	-	-
125	1140	海老津1号橋	2.6	6.6	-	A	側壁	ひびわれ	-	-	-
126	1141	中曽根1号橋	2.0	5.6	-	A	下部工	ひびわれ	-	-	-
127	1145	原2号橋	5.6	6.5	-	M	上部工 路面	ひびわれ 凸凹	-	-	-
128	1146	上丸橋	3.6	4.8	-	A	頂版 側壁	ひびわれ	-	-	-
129	1147	岸元橋	11.0	4.4	-	A	下部工 路面	ひびわれ 凸凹	-	-	-
130	1148	水町3号橋	3.3	4.5	-	A	頂版	ひびわれ	-	-	-
131	1149	水町2号橋	2.9	4.8	-	M	頂版 路面	ひびわれ 凸凹	-	-	-
132	1150	牟田1号橋	4.4	5.1	-	B	上部工 路面	鉄筋露出 凸凹	-	-	-
133	1151	牟田2号橋	3.1	3.8	-	M	路面	凸凹	-	-	-
134	1152	汐入橋	8.5	3.8	-	B	上部工 路面	ひびわれ 凸凹	-	-	-
135	1155	野間川1号橋	13.6	9.5	1981	A	下部工	ひびわれ	-	-	-
136	1156	野間川2号橋	13.3	9.5	1982	B	下部工 路面	ひびわれ 凸凹	-	-	-
137	1158	堀毛橋	2.5	7.6	-	C	上部工 路面	鉄筋露出 ひびわれ	上部工取替	-	-
138	1161	公園通り1号橋	7.0	10.0	-	A	-	-	-	-	-
139	1162	公園通り2号橋	5.8	7.2	-	A	上部工 路面	ひびわれ 凸凹	-	-	-
140	1164	日焼橋	5.1	9.2	1984	A	下部工 路面	ひびわれ 凸凹	-	-	-
141	1166	床版橋	3.0	9.1	-	A	-	-	-	-	-
142	1167	東山田橋	14.6	3.5	1978	A	-	-	-	-	-

判定区分	A: 損傷無し又は軽微	B: 状況に応じて補修	C: 速やかに補修	D: 早期に補修	E: 緊急対応	M: 維持管理対応
------	-------------	-------------	-----------	----------	---------	-----------